



ごいっしょに
考えましょう

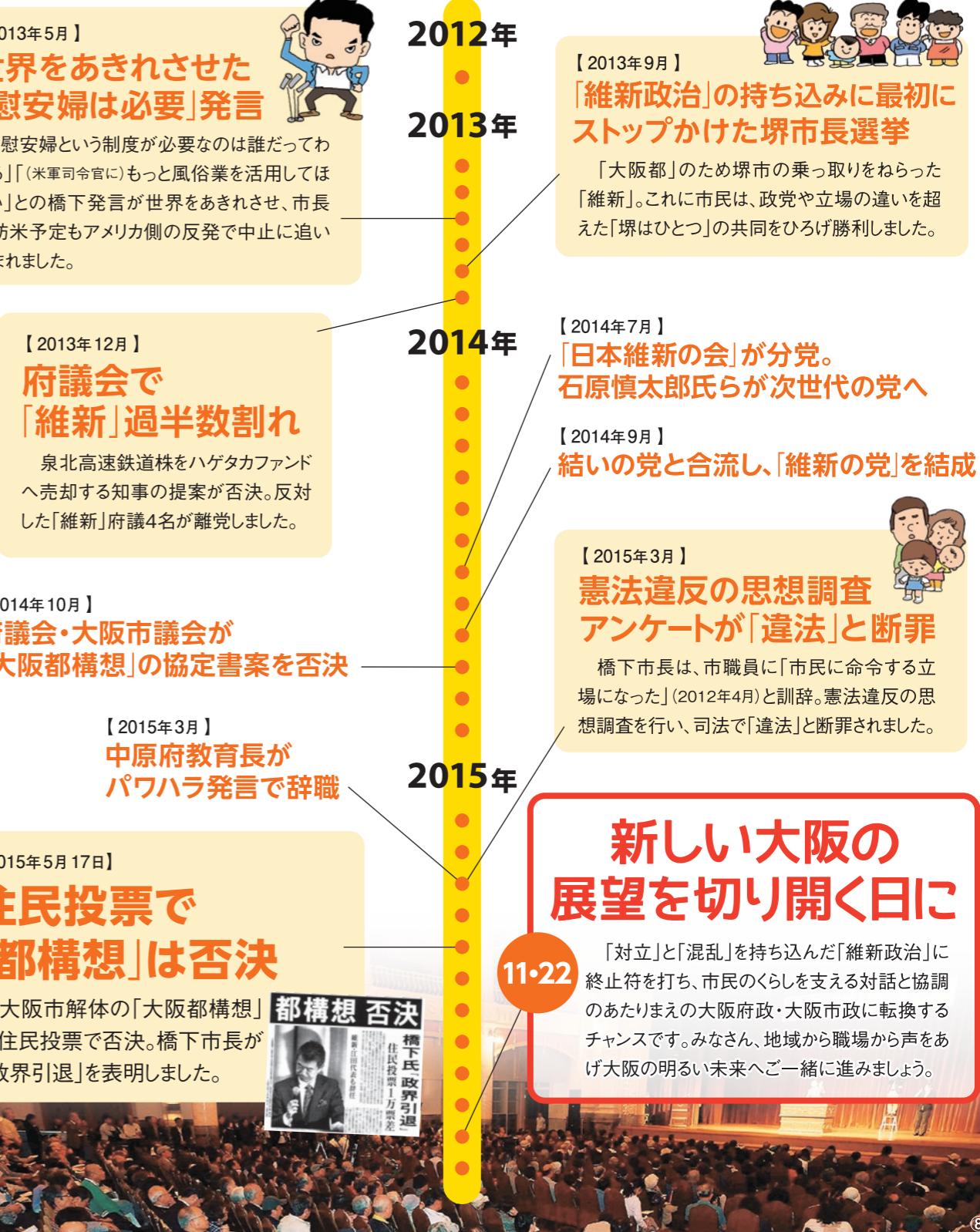
オール大阪
vs.
「維新」

「維新」府・市政の8年間 2~3頁
2人がたちあがった 4~5頁
展望が見えてきた 6~7頁
あの時 歴史は動いた 8頁



あの時 ~4年間の大坂~ 歴史は動いた

2008年の府知事選挙で橋下氏が当選。「大阪都構想」(2010年)の発表、「大阪維新の会」の結成から、堺市長選挙、大阪市の「住民投票」の否決へ。いま歴史は動いています。



【2013年9月】
「維新政治」の持ち込みに最初にストップかけた堺市長選挙

「大阪都」のため堺市の乗っ取りをねらった「維新」。これに市民は、政党や立場の違いを超えた「堺はひとつ」の共同をひろげ勝利しました。

【2014年7月】
「日本維新の会」が分党。
石原慎太郎氏らが次世代の党へ

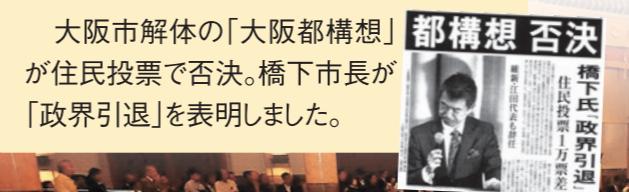
【2014年9月】
結いの党と合流し、「維新の党」を結成



【2015年3月】
憲法違反の思想調査
アンケートが「違法」と断罪

橋下市長は、市職員に「市民に命令する立場になった」(2012年4月)と訓辞。憲法違反の思想調査を行い、司法で「違法」と断罪されました。

11・22
新しい大阪の
展望を切り開く日に



「維新」府・市政の 8年間

ごいっしょに見てみましょう

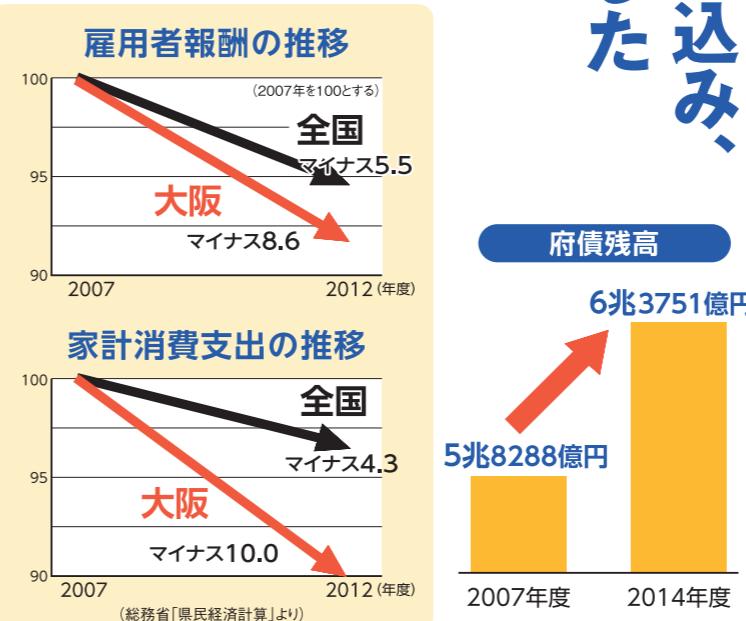
「強い大阪」「大阪を変える」——橋下さんの言葉に期待された方もおられると思います。しかし、やつてきただことの実際はどうだったのでしょうか。

経済・財政

全国以上に落ち込み、 借金が増えました

「維新」は4年前、「実質成長率を年平均2%以上」というマニフェストを出しました。実際は5年間（2007～2012年度）でマイナス4%。他の経済指標も全国以上の落ち込みです。財政面でも、大阪府は借金を急増させ、国の許可がないと借金もできない自治体に転落させられました。

くらしと中小企業への支援で経済・財政を建て直す府政に変えましょう。



民主主義・教育

対立あり、政争に あけくれてきました

「維新」は、敵をつくっては攻撃し、意見の違う人達を排除して強権的に政治をすすめ、民主主義をこわしてきました。『選挙で勝った者が、教育目標を決めるのは当たり前』と教育介入を当然視。しかし、不祥事続出の公募校長、パワハラ府教育長、高校入試に学力テストの内申点活用……混乱を繰り返してきました。

対立から対話の政治に転換させ、みんなの力でつくる新しい大阪に前進させましょう。

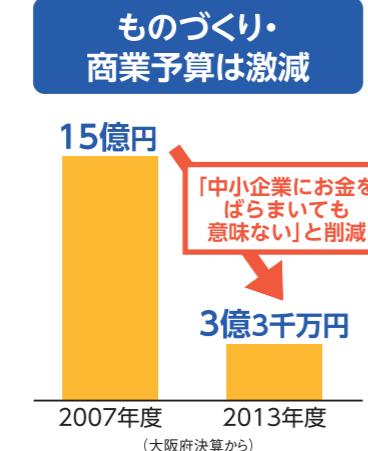
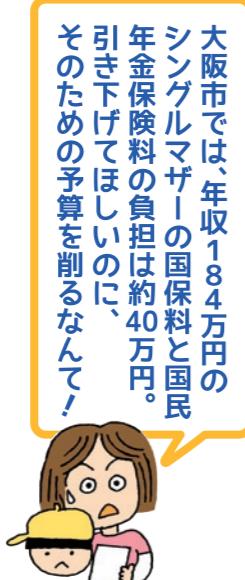
- 「職員は市長の顔色を見て仕事をせよ」「職員は市民に命令する立場」(橋下市長)
- 憲法違反の職員思想調査
- 「都構想」を議論する法定協から反対派を排除

「維新政治」で廃止、削減、改悪

- 大阪府
特別養護老人ホーム建設補助を廃止
- 高齢者住宅改造補助を廃止
- 府営住宅戸数を削減
- 国民健康保険への補助を削減
- 街かどデイハウス補助金を削減
- 障がい者福祉作業所などへの補助を削減
- 千里、大阪赤十字病院の救命救急センターの単独補助廃止
- 土砂災害対策予算を削減
- ものづくり支援関連予算を削減
- 小売・卸商業関連予算を削減
- 中小企業への融資制度を改悪
- 学校警備員補助の廃止
- 府立高校の募集停止、廃校を計画
- 私学助成を改悪
- 教育予算を8年間で8%削減(マイナス587億円)
- センチュリー交響楽団補助金を廃止
- 男女共同参画事業の削減、ドーンセンター機能縮小

大阪市

- 住吉市民病院の廃止を決定
- 民間社会福祉施設職員給与改善補助金の廃止
- 上下水道料金福祉減免の廃止
- 敬老バスの有料化
- 赤バスの廃止、市バス路線の削減
- 国民健康保険料の連続値上げ
- 市立幼稚園、保育所の民営化
- 1歳児保育特別対策費の廃止
- 新婚世帯への家賃補助の廃止
- 保育料の軽減措置の改悪



くらし・福祉

大切な施策の廃止や 削減が続きました

大阪府や大阪市で、くらしや雇用、教育、中小企業への支援が削減されてきました。「維新」が「自分のことは自分で」「行政の役割は最少に」を政治の基本にしているのです。

「福祉を増進させる」（地方自治法）役割を發揮する府・市政への転換で、安心・安全・豊かな大阪をつくりましょう。

- 大阪市では、年収184万円のシングルマザーの国保料と国民年金保険料の負担は約40万円。
- 引き下げてほしいのに、そのための予算を削るなんて!

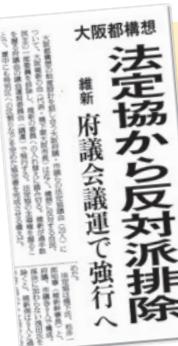
政治活動費の 不正使用ゼロゼロ

「身を切る改革」を宣伝していますが……

- 「維新の党」分裂
- 政黨助成金分捕り合戦
- 退職金ゼロ。実は、手取りは348万円増
- 「維新の党」分裂
- 政黨助成金分捕り合戦
- 退職金ゼロ。実は、手取りは348万円増
- 「維新の党」分裂
- 政黨助成金分捕り合戦
- 退職金ゼロ。実は、手取りは348万円増

「維新の党」の分裂騒動は、政党助成金が振り込まれる通帳の奪い合いにまで発展。橋下市長ら「大阪組」が住民投票時に使った5億円の未払い金や、ダブル選挙に使うために固執しているからと報道されています。「維新」の税金だのみの姿が鮮明です。

- 「維新の党」分裂
- 政黨助成金分捕り合戦
- 退職金ゼロ。実は、手取りは348万円増
- 「維新の党」分裂
- 政黨助成金分捕り合戦
- 退職金ゼロ。実は、手取りは348万円増
- 「維新の党」分裂
- 政黨助成金分捕り合戦
- 退職金ゼロ。実は、手取りは348万円増



2人がたちあがつた

「オール大阪」の共同があとおし

「維新政治」を終わらせようと立ち上がった2人。

またも「大阪市つぶし」「くらし」わしの「都構想」をかかげる「維新」にたいして、その政策、主張が光ります。

Wの主役が語る 「明日の大阪」



元市議団幹事長

「二重庁舎」をなくす。教育を立て直す

「女性が輝く街、大阪」大切なのは「しくみ」ではなく「なかみ」。

「都構想」にかまけ、防災、福祉、中小企業対策もないがしろ。府民に心を配る府政に。

経済対策はカジノや「道頓堀ブーム」などでなく、中小企業支援こそが最も重要。

防災拠点にならないムダな咲洲庁舎と大手前の「二重庁舎」をなくす。

学区撤廃や思いつきの高校入試制度の変更で、学校現場は大混乱。中止・改善を。



元女性府議

「オール大阪」で新しい大阪に



田中 誠太さん
八尾市長

大阪の活力を摘む「維新」もう終わりに

「維新」政治によって、大阪の地方自治、発展が危機に直面している時に、政党、立場の違いは関係ありません。

「大阪都」構想は、大阪市も堺市も大きすぎるから分割して、つまり、つぶして、権限も財源も「都（府）」に吸い上げようというものです。大阪都構想で一つに結集できたから勝てました。

大阪は、昔から商人のまち、ものづくりのまちです。創意工夫や進取の気風がある。地域の中の連帯によってまちづくりが起こっていく。下からの盛り上がりが、まさに地方自治です。それを、「維新」は、トップダウンで一つの枠組みにはめ、大阪の活力を摘んでいく。

もう終わりにしたいです。

「維新」にさよならを



平松 邦夫さん
元大阪市長

ピンチをチャンスに



佐々木 唯さん
カジノいらない女性アピール

子どもを選び好みしないで



郡山 麻理さん
西淀川高校を支える会

この間、「維新」はあらゆることが知事は、息子が通う府立西淀川高校を再編整備するため、「魅力のない学校」「生徒自身の成長につながらない」といいました。高学年をめざす子どもには「魅力」がなくせられる、そんな「心あわせ」「力あわせ」の政治をお願いしたいと思います。

大阪の子全員を社会の形成者に育ててほしいと思います。

政治に大きな不満が高まっています。けど、無関心と言われていた若者世代が声をあげています。

維新は、図書館やブールを廃止したり、カジノを誘致しようとしています。いまはピンチなのかもしれないけれど、チャンスに劇的に変えができる大阪人の底力。いま

「敬老バス」50円徴収はなくす

「大阪市を残す」という住民投票の民意を受け、まったくな大阪の政治に再生します。「敬老バス」は、「乗車」との50円負担」を撤廃、地下鉄料金の引き下げを。

非正規雇用者が正規雇用へ転換できるように事業者を支援します。

子ども医療費助成の所得制限撤廃と18歳までの無償化検討。特別養護老人ホーム等の増設。民営化議論に終止符を。

「維新政治」に、みなさんの力でさよならを告げ、大阪から日本を変えましょう。

大阪の展望が見えてきた

大阪府医療審議会で「住吉市民病院の廃止反対」
ひろがる反対の声!
公立病院で現地建て替えを

くらしと経済を
ハantanナせる
「都構想」

「都構想」は、くらしを切り
すてムダな大型開発を「一人の
指揮官」（府知事）ですすめる体
制づくりです。橋下市長は、住
民投票で否決された「都構想」
に再挑戦すると言い、「都構想
の試金石」としてきたカジノを
断固すめると宣言しています。
失敗してきた巨大開発推進を
繰り返そうとしています。

「都構想」の口実にされてきた
のが「二重行政」。ムダな「二重
行政」があれば解消するのは当
然です。しかし、大阪市をなく
してまで解消すべきムダな「三
重行政」はありません。「維新」
が問題にする病院や大学、図書
館などは住民にとって大切なも
のは国、府、市で二重、三重
に充実させる」とこそ大事です。



医師会長も地域振興会
長も「地域医療を守るの
は大阪市の仕事。小児医
療は不採算だとわかつてい
る。民間では無理」と発言。
住之江区医師会の松嶋会
長は「『維新政治』では地
域医療は守れません」と厳
しく批判しています。

広がる「維新政治ノー」の共同 大阪市立幼稚園 廃止・民営化案を否決

10月9日、橋下市長が提案
した市立幼稚園廃止・民営化
案を「維新」以外の自民、公明、
共産、民主系会派で否決しま
した。この間の保護者や地域
の粘り強い共同の運動によって
願いが実現しています。



「維新政治」と一線を画す! 「反維新」8市で 進む願いの実現



話し合いかがすすむ!
くらし関連予算も増えた

2013年9月の堺市長選以降、岸和田、貝塚、豊中、
泉南、吹田、寝屋川、八尾の8つの市で「反維新市政」
が誕生しています。これらの市では、「国民健康保険料
の大幅引き下げ」「子ども医療費助成の拡充」「お出か
け応援バスの拡大」などくらしを守る施策がすすめられ
ています。国保料連続値上げや公立病院つぶしをすすめ
る「維新」政策と大違いです。

国への立場の違いをこえて、「維新政治ノー」で
まともな府政・大阪市政をとりもどしましよう。

自民と共産で「野合」? よくするための支援は当然

義を壊してきました。

まともな大阪府政・市政
を取り戻すため、住民と政
党が立場の違いをこえてみ
んなで力を合わせるのは当然で
す。逆に「維新」こそ離合
集散のくり返し。その「野合」
ぶりが問われます。

- 「維新政治」を許さない市で
国民健康保険料引き下げ
堺市(6年連続)、
貝塚市、寝屋川市
- 市立病院の充実**
堺市、岸和田市(産科の9年ぶりの再開)
- 高齢者の外出支援**
堺市(お出かけ応援バスの拡充)
- 保育料の負担軽減**
寝屋川市
(年少扶養控除があるものとして再計算)
- 子ども医療費助成の拡充**
堺市(中学校卒業)、
八尾市(中学校卒業)



不毛な対立と分断の 「維新政治」に戻るのはゴメン

「維新」は「過去に戻すか、
前にすすめるか」と言っています。
しかし、それは事実
と道理に合いません。

橋下市長のいう「過去」
とは、旧WTCビルやりんく
うゲートタワー、ビル、「職員
厚遇」問題など何十年も前
の話です。

住民投票の時、野党共同で

つくった「公報」でも、かつて
のムダな公共事業を「政策
の失敗」と認めています。
住民の世論と運動でそんな
無茶な時代に戻ることはあり
えません。いま必要なのは「正
常に戻す」こと。「維新」に
よる不毛な対立と分断、く
らしと民主主義、こわしの「過
去に戻る」ことは「メンです」。

「維新」は「自民と共産、が
理念や考え方も違うのにいつ
しょにやるのは野合」と批判
しています。

この8年間、「維新」は「選
挙に勝てば何でもできる」
と、今までの政治になかった
独裁的な手法で、医療や福
祉、教育を切り捨て、民主主